

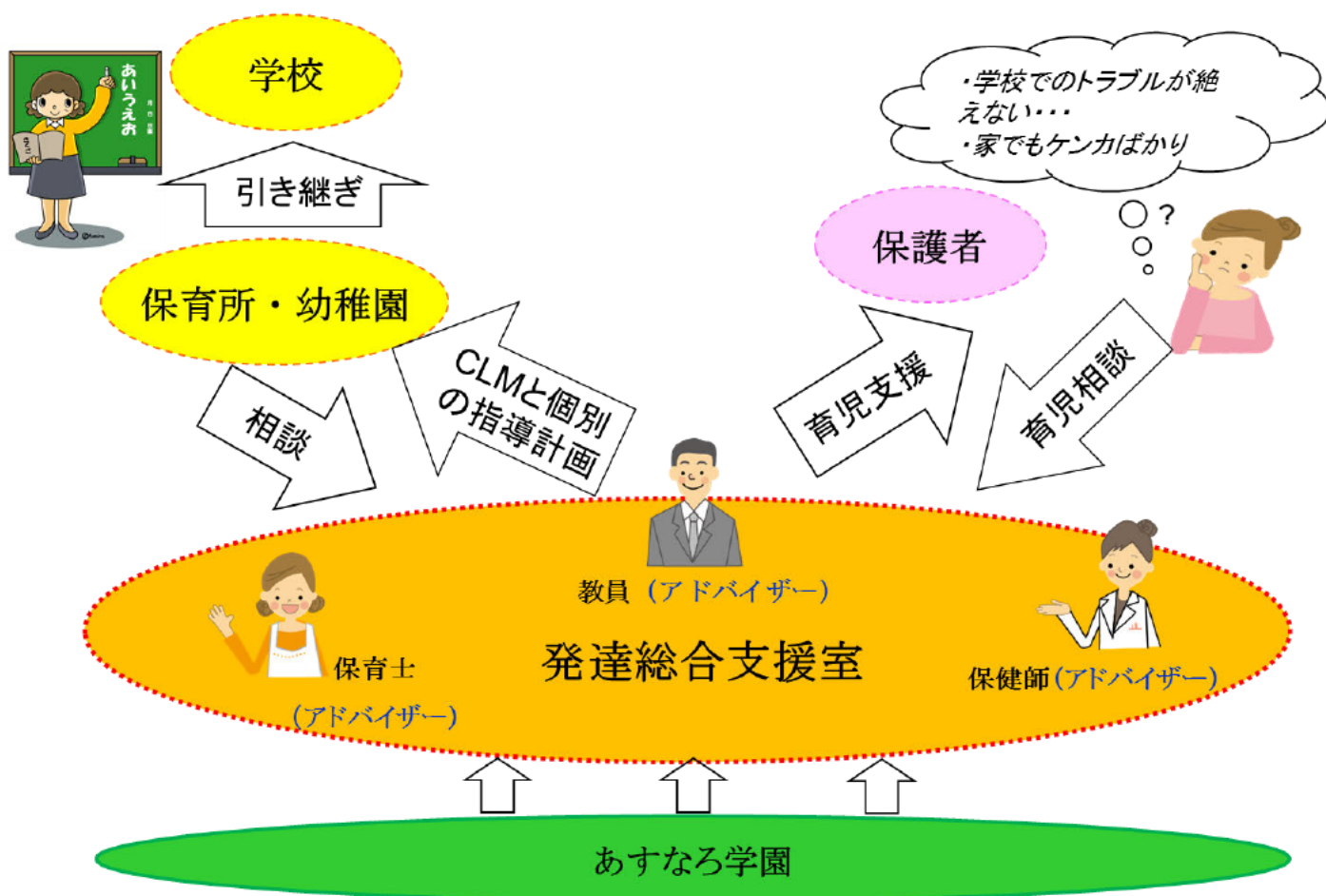
三重県に生まれ育つすべての子どもに 途切れのない支援を

あすなる学園の市町支援とは？

あすなる学園では、三重県に生まれ育つすべての子どもの発達・子育て支援をめざして、県内 29 市町と協働しながら、「途切れのない発達支援システム」の構築を進めています。

「途切れのない発達支援システム」とは、子育てに関わる方が相談しやすく、身近で敷居の低い市町の窓口を中心としたシステムと考えています。子どもの心配な行動に対して、家庭、保育所、幼稚園、学校等で、その子に応じた適切な支援を行うことにより、その子なりの健やかな成長と問題行動の予防や軽減が期待できます。子どもたちの発達段階に応じた途切れのない支援が続けられるように、あすなる学園は市町のシステムづくりを応援しています。

市町における途切れのない支援システム



途切れのない発達支援システム

①発達総合支援室・機能の設置

子どもが健やかに育つために途切れのない子育て支援が大切です。あすなろ学園は各市町の役所に保健・福祉・教育が一元化したワンストップ窓口の設置を目指しています。子どもの事で困ったことや悩みがあったら相談できるよう、保健師、保育士、教員等の専門性の高い職員が対応してくれるしくみになっています。

あすなろ学園の外来にはそれぞれの市町のパンフレットを置き、ご紹介しています。

②保育所・幼稚園での「CLMと個別の指導計画」による早期発見・支援

「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」は保育所や幼稚園の担任の先生が子どもの困り感に気づき、適切な支援を行えるためのツールです。日常の園生活の中で、クラスの他の子と一緒に活動を行いながら、気になる子も一緒に育ち合う支援方法です。

取り組んでいた先生から「子どもが成功体験できるようになった」「クラスの他の子も落ち着いてクラス全体の支援に繋がった」「自分の保育を見直すきっかけになった」「子どもをほめることが多くなり、信頼関係が深まった」との感想をいただいています。

三重県では全市町の保育所・幼稚園に「CLMと個別の指導計画」の普及・定着に努めています。

③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成

あすなろ学園では、①の発達総合支援室へ配置する各市町の核となる人材を育成するための研修として、保健師・保育士・教員の方を受け入れています。研修後は、「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」として、平成28年7月現在21市町55名（保育士・幼稚園教諭35名、保健師5名・教員15名）が各市町の発達総合支援室・機能等で活躍されています。

研修後も、アドバイザー総会やミニ学会の開催、「CLMと個別の指導計画」を活用した実践報告会など、更なるスキルアップ研修を計画し、各市町での活躍を応援しています。

インフォメーション

「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援実践報告会

日時：平成28年11月13日（日曜）10:00-16:30

場所：三重県総合文化センター内 フレンテみえ多目的ホール（津市一身田上津部田1234）

対象：保育士、教員、関係行政職員等

申込 各市町発達総合支援室、あすなろ学園市町支援課

平成28年（2016年）8月26日

<発行> 三重県立小児(こども)心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援課
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361
MAIL：asunaro@pref.mie.jp URL：http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/